

## 「子どもを守るネットワーク」への参加を市長へ要請

連合三多摩からの要請を受け、大塚あかねは並木心羽村市長へ「子どもを守るネットワーク」への参加を要請しました。



「子どもを守るネットワーク」は、三多摩地域において、車両を使用する業務を行う社員・組合員を中心に行われている、子どもの安全を守る活動です。大塚あかねは羽村市の子どもを守るために、是非とも羽村市も参加することを求め、市長からもこの活動に大変な理解をいただき、羽村市も参加することとなりました。

市の庁用車には「子どもを守るネットワークシール」が貼付され、子どもたちが保護を求めてきた場合や挙動不審者（車）と接触している等子どもたちの身の危険を察知した場合に一時保護・警察へ通報します。（はむらんにも貼付されています）

子どもに「自分の身に危険が迫ったら、気軽に声をかける」よう、伝えてくださいね！！



## 大塚あかねからの お知らせ

築42年の自宅の排水管が壊れ、修復不可能と建築診断を受け、建て直すこととなりました。

本年12月までの仮住まいは

羽村市羽中2-15-18 ハイム明治202

となります。宜しくお願いいたします。

## 無料法律相談 開催中！！

毎月第4土曜日、9時から15時まで西東京共同法律事務所のご協力により、弁護士による無料法律相談を開催しています。

「相続・離婚・交通事故・破産」などなど、お困りの事があったらお気軽にご相談ください。事前の予約が必要ですので、お気軽にご連絡ください。

大塚 あかね後援会 042-555-5338

大塚あかねが事務所まで同行します。

## 大塚あかね後援会 会員募集中です！！

〒205-0015 羽村市羽中2-15-12

<http://www.otsuka-akane.net>

TEL 042-555-5338 FAX 042-555-5338 にご返信ください！

お名前	(フリガナ) _____	お電話番号	_____
ご住所	〒 _____		
ご意見ご要望	_____		
■ お知り合いをご紹介ください！ ■			
お名前	(フリガナ) _____	お電話番号	_____
ご住所	〒 _____		



# AKANE NEWS

大塚あかね後援会

平成19年4月25日第1種郵便物認可

2008年10月15日  
民主プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
<http://www.dpj.or.jp>

**民主** 号外  
PRESS MINSHU

## 9月議会速報！ (9月9日～10月3日 会期25日間) — ご存知ですか？「デートDV」！！ —

9月議会では平成19年度決算が審議されました。

平成19年度決算はいずれも黒字となり、一般会計は歳入が193億602万円で対前年比0.4%、歳出が189億607万7千円、対前年比1.6%増となりました。経常収支比率が前年度に比較して2.2ポイント上昇し、95.5%となり、今後、行財政運営の効率化を一層徹底していくことが羽村市の課題です。

大塚あかねは決算特別委員会において、職員研修費、まちづくり推進サークル支援事業費、家庭福祉員事業に要する経費、成年後見人制度報酬助成金、防犯対策、児童館事業費などについて質問し、また、市内小中学校に置かれている陶芸室の有効利用、スポーツセンターで人気のプログラム「ステップ1」の実施改善、ひとり親家庭への支援、はむらんの運行に関する事業、市内中小企業支援などについて、改善や今後の提案を行いました。

一般質問では皆様のお声をいち早くお届けするために、初日のトップバッターで登壇し、

- 1、「男女間の暴力」に対する羽村市の取組みについて
- 2、再び地上デジタル放送移行に向けての羽村市の取組みについて問う
- 3、生涯学習センター「ゆとろぎ」ホールの安全な利用について

を質疑しました。(詳しくは中面をご覧ください)

結婚前の若い恋人同士の間で起こる暴力「デートDV」が社会問題となっています。

テレビドラマでも取り上げられましたが、内閣府の調査でも10代から20代の女性の13.5%、男性は5.2%が交際相手から身体的暴力、心理的暴力、性的強要などの被害にあったという結果が出ています。夫婦間のDVもデートDVも起きていることは同じです。

交際相手からの暴力問題について考える機会を積極的に提供することは配偶者からの暴力防止にも有効なこと、若い世代への教育啓発を訴えました。

## 皆様のご要望を実現しました



▲「はむらん」車内に路線図が掲示されました



◀松林小学校 PTA 様からの「校内の樹木が伸びすぎている」という意見を教育委員会に伝え、伐採していただきました

## 9月議会 一般質問

9月議会では3項目にわたり、持ち時間の1時間をかけ、みっちり質疑を行いました。  
以下、大要をお伝えします。

### 質問1、「男女間における暴力」に対する羽村市の取組みについて

一部改正されたDV法が施行され、半年以上経過しましたが、基本計画の策定、支援センターの設置などの取組みは進んでいるのでしょうか？また年々増加している、男性被害者に対し、市はどのように対応しているのか、また結婚前の若い男女間で起きる暴力「デートDV」が社会問題となってきていますが、市の対策はどうなっているのか、伺いました。

- 大塚** 基本計画の策定の進捗状況はどうなっているのでしょうか？
- 市長** 本年4月に関係部課長で構成するDV防止対策部会を設置し、検討している。
- 大塚** 配偶者暴力相談支援センターの設置状況は？
- 市長** 福祉事務所の「婦人相談員」が支援センターの機能の一部を担っているので、充実を図っていく。
- 大塚** 男性被害者、加害者の相談体制はどうなっているのでしょうか？
- 市長** 「東京ウイメンズプラザ」で実施している「男性のための悩み相談」を紹介している。
- 大塚** 「デートDV」に対する羽村市の取組みはどうなっていますか。若い世代へ暴力に関する意識調査、教育啓発は行われているのでしょうか？
- 市長** 広報誌やテレビはむら等でお知らせするとともに、若年層に対する教育啓発は重要と考えるので、東京都で実施している大学生向けの啓発活動の動向を見つつ、対応を研究していく。
- 大塚** 今年も11月12日から「女性に対する暴力をなくす運動」が国の施策として行われます。昨年、市はこの運動を行わなかったことを12月議会で指摘しましたが、今年はどうのように展開するのでしょうか？
- 市長** 「デートDV」も含めた駅頭啓発運動を実施する。

国分寺市や国立市のように一時保護のための予算を組むこと、男性相談の設置やメールでの受付、デートDVに関しては、ホームページでの周知、成人式などでリーフレットを配布し、若年層への啓発を行うことなどを提案しました。

### 質問2、再び地上デジタル放送移行に向けての羽村市の取組みについて伺う

総務省が7月24日に正式に「地上デジタル放送推進総合対策」を発表しましたが、国の動向にあわせた、羽村市の取組みについて再び、質疑を行いました。

- 大塚** 総務省は平成22年12月末までに公共施設のデジタル化完了すること、としているが、羽村市のデジタル化計画の進捗状況について伺います。
- 市長** 「地上デジタル放送対応連絡調整会議」にて本年11月頃までに計画を策定することになっている。
- 大塚** 公共施設が原因となる共聴施設対策の現状について伺います。
- 市長** 対象9施設（ゆとろぎ、図書館、水道事務所、東児童館、市役所、福祉センター、1中、2中、西小学校）について、来年度初めに受信障害範囲及び受信強度の調査を行い、説明会を開催し、受信方法や負担区分について受信者と協議していく。
- 大塚** 小作台、栄町、双葉町地区の現状について伺います。
- 市長** 小作台地区は地元管理組合の「小作台テレビ協会」によると加入している世帯がデジタル化に対応していれば、視聴が可能である。栄町地区については東京電力が今年度中に地元説明会を開催すると聞いている。双葉町地区については、市として共聴施設について国に対して適切な対応を行うことを要望した。

- 大塚** 国の方針は「生活保護受給世帯」に受信器購入などに係る支援を行う、としたが、羽村市として、生活保護受給世帯以外の高齢者・障がい者の皆様への働きかけ、サポートをどのように図るのか、伺います。
- 市長** 「総合対策」の中で、「生活保護受給世帯以外の高齢者、障がい者などへのサポートについて、きめ細く説明会の開催や販売店、工事店の紹介を行い、確実にデジタル化に対応できるようサポートを行う」とされているので、さらに具体策が示され次第、対応していく。

周知広報に関して、ポスターなどの掲示場所は「なるべく人目にふれるところ」（ゆとろぎなど公共施設、市役所の1階ホールなど）にするべきでは、と提言し、広報などでも具体的な内容（受信方法、受信にかかる費用など）を広報すべき、と提案しました。市内の都営住宅、羽村団地についても地上デジタル放送への対応が完了していることを確認しました。国の方針は地元老人会や、民生委員、ボランティアの協力を得て、情報の裾野が広がることを求めているのですが、市としても今後、対応していくとの答えでした。また、全国電機商業組合連合会の「地デジ110番」について地域密着型のサービス、ビジネスチャンスとして、商工会と連携し、登録を勧めることを提案しました。（羽村市内では1件の登録店があります）

### 質問3、生涯学習センター「ゆとろぎ」ホールの安全な利用について

- 大塚** 「ゆとろぎ」で催しの際には「羽村レセプションリスト」が主催者の依頼により、来館者の整理や案内、場内放送を行い、万が一事故が発生した場合には避難誘導も任されている。お客様の安心・安全を守るためにもレセプションリストのさらなる活用を図ってはどうか。
- 市長** レセプションリストの利用の有無は主催者の判断に任せているが、お尋ねのとおり、来場者の安全確保は施設運営にも最重要であるので、PRを行い、利用促進を図っていく。

## 活動の記録



親善会の野点に参加。  
お点前を披露



東小学校の  
サマーセカンド・スクールの  
ダンススポーツをお手伝い



福生病院を視察



介護予防リーダー研修に参加



夏祭りの人波踊りに  
町内会の皆様と参加